

松浦川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

凡 例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の松浦川、徳須恵川、厳木川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10％））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3％））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2％））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1％））の降雨に伴う洪水により松浦川、徳須恵川、厳木川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和57年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表しているため、河道条件が異なります。
- ## 2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年4月27日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・武雄河川事務所：松浦川水系松浦川、徳須恵川、厳木川
- ## (3) 実施区間
- 【武雄河川事務所】
- ・松浦川
左岸：佐賀県武雄市若木町本部字野々瀬3935番地先萩ノ尾堰から海まで
右岸：佐賀県武雄市若木町本部字野々瀬3935番地先萩ノ尾堰から海まで
 - ・徳須恵川
左岸：佐賀県伊万里市南波多町高瀬字大前田1291番の2地先市道橋から松浦川への合流点まで
右岸：佐賀県伊万里市南波多町高瀬字大前田1291番の2地先市道橋から松浦川への合流点まで
 - ・厳木川
左岸：佐賀県唐津市厳木町広瀬字篠の坂667番の4地先から松浦川への合流点まで
右岸：佐賀県唐津市厳木町広瀬字立草2386番の1地先から松浦川への合流点まで
- ## (4) 算出の前提となる降雨
- ・年超過確率1/10（松浦川流域の2日間の総雨量330mm）
 - ・年超過確率1/30（松浦川流域の2日間の総雨量390mm）
 - ・年超過確率1/50（松浦川流域の2日間の総雨量450mm）
 - ・年超過確率1/100（松浦川流域の2日間の総雨量500mm）
- ## (5) 河道条件：現況
- ## (6) 関係市町村 唐津市、伊万里市、武雄市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

『国土地理院の電子地形図25000『有田』『武雄』『伊万里』『多久』『徳須恵』『唐津』『相知』『浜崎』を掲載』
『測量法に基づく国土地理院承認 使用 R 3.Hs 1022』